

エンコウソウ

Caltha palustris var. enkoso

キンポウゲ科

魚類

底生動物

爬虫類
両生類

トンボ

チヨウ

樹木

草花
(在来種)

草花
(外来種)

哺乳類

鳥
(水辺)類

草原・樹林
ワシシタカ

名前の由来

長くはう茎を手長猿の手に見立てて名付けられたという。

漢字名：猿猴草

形態的特徴

全体に肉質で軟弱。花茎は長さ80cm程度までのびて地表をはい、節から根を出す。根元からのびる根出葉には長い柄があり葉は腎円形、ふちに低い鋸歯があるが、まったく無い場合もある。花は鮮黄色で径2~3cm、5~6枚の花びら（花弁）状のがく片があり、花茎の先端に1~3個つく。

類似種と見分け方：エゾノリュウキンカ。

エゾノリュウキンカはエンコウソウよりやや大きく、茎は直立する。また、花がややまとまってついている。



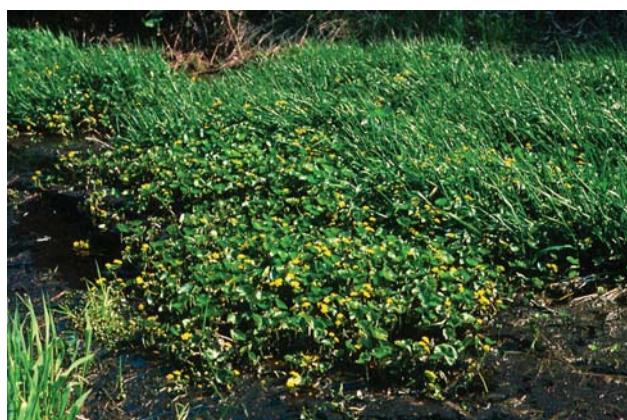
エンコウソウ



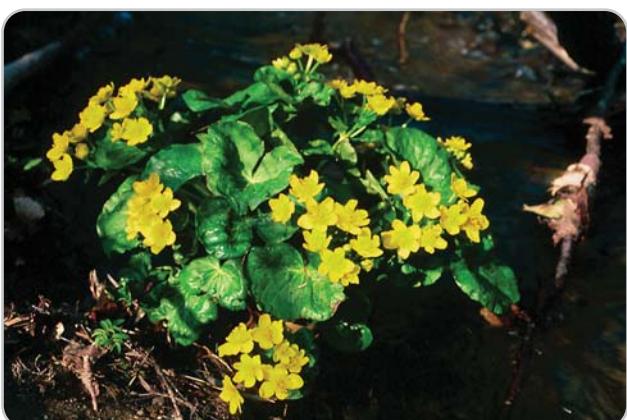
エンコウソウ



類似種のエゾノリュウキンカ



エンコウソウ。絨毯のように一面に広がる



エゾノリュウキンカ。株立ちする

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期												
結実期												

生育環境・分布

平地の水辺や湿地などに生育する。

分布：国外分布は、千島・樺太。国内分布は、北海道・本州。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、平地の水辺や湿地などに生育する。



エンコウソウ。湿地に生える

生活史

開花時期：4～6月

開花までの年数：不明

寿命：多年草。

他生物との関わり

花には虫が訪れる。



エンコウソウの花。多数の雄しべが花の中心につく

興味深い話

■エンコウソウは花後、茎の節から根が伸びて越冬用の芽をつけ、翌年そこから新しい個体がのびる。

■しばしば観賞用植物として人家に好んで植えられるという。



エンコウソウ。種子が落ちた後

参考文献

「改訂増補 牧野新日本植物圖鑑」牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道植物図譜」滝田謙譲 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本II」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社
1982

「日本山野草・樹木生態図鑑」沼田眞 全国農村教育協会 1990

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チヨウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(鳥類)
水辺

(草原・樹林)
鳥類